

碧南市児童クラブ・児童センター・こどもプラザららくるにしばた・こどもプラザこころつくしんかわ指定管理者審査委員会 会議録

日時

令和8年7月16日（木）午後2時～午後3時まで

場所

碧南市役所2階 会議室1

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 山本政裕、渡邊颯一郎、伴野義雄、井上美香、宮地京子、山本貴史
- (2) 欠席者 沖牟田真也
- (3) 事務局職員 こども健康部長 中川英治、こども課長 鈴木好美
子育て支援係長 長澤貴行、主査 井上美希
- (4) 指定管理者 碧南市社会福祉協議会事務局長 伊藤正博、管理課長 榊原圭司、管理課長補佐 江坂篤史、主任児童専門員 杉浦恵理、主査 長南直美、棚尾・東部児童センター 所長 杉浦みゆき、ららくるにしばた所長 杉浦淳子、こころつくしんかわ所長 井上明日香

傍聴者 0人

委員会の成立 委員定数過半数以上出席により成立

会議の公開 市HPで委員の氏名、選出機関・団体名、会議録に出欠席者氏名、発言内容の要旨を公表する旨説明

議事進行 山本委員長

議事の要旨

議題

(1) 児童クラブ

ア 令和7年度事業報告及び決算について

イ 令和8年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<意見・質疑>

【A委員】 夏休みも暑い中でなかなか大変だと思うが、支援員さんの年齢層はどれくらいか。

【指定管理者】 今年度の平均は51歳。

【A委員】 何歳の方が多いか。

全体の資料を見たときに、支援員さんに対していろいろ意見

が書いてあった部分があるので、その支援員さんの年齢層が気になったのと、例えば年齢層が高い方だと頑固な方が多い印象があるので言い方がきついとか文句が出てくるのかなと思った。そういったところから、支援員さんの体制を教えていただければと思った。

【指定管理者】 体感的には40代、50代の方が多い。60代の方の再就職先のような形で働いている方もいる。60代の方に関しては、「自分の育った時代はこうだった。」という指導の仕方をされるかたもみえる。ただし、今の時代でそれでは通用しないため、事務局としても適正な育成支援ができるようにしたいと思い指導をしている。

【A委員】 60代の人から見ると自分たちが年下になるため話を聞いてくれない場合があるが、何か工夫があるか。

【指定管理者】 今ちょうど巡回アドバイザーを入れて児童クラブの運営指針という形で「児童クラブの運営自体はこうなんだよ」ということで統一的に全クラブ回って話をしている。納得していただけているかはわからないが話はしている。

【B委員】 巡回アドバイザー事業に関して、発達支援対応なのか。どのような業者が入っているのか。

【指定管理者】 保育所等訪問支援事業に携わっている事業所が入っている。発達障害のある子だけに特化しているわけではない。基本は支援員への支援である。

【B委員】 対象は障害児というわけではないのか。

【指定管理者】 障害児だけではない。クラブに通っている全児童を見てもらっている。障害のあるないは関係ない。多動や机に乗る、大きな声を出す子が目立っている。そういう児童への支援方法について支援員に対して助言をもらっている。

【B委員】 70名中47名が放課後児童支援員に資格を持っているとあるが、他の方は持っていないのか。

【指定管理者】 令和7年度採用者が多かったため、まだ受講ができていない。今年度の受講を検討している。

(2) 児童センター

ア 令和7年度事業報告及び決算について

イ 令和8年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<意見・質疑>

- 【A委員】 予算書で東部と棚尾の間で予算金額の入れ替えがあったと説明はあったが、理由を教えてほしい。以前は臨時職員だけだったが正規職員に変わったなどそういう影響があったのか。
- 【指定管理者】 東部から棚尾に正規職員の人事異動があった。それに伴い予算金額も移動した。
- 【A委員】 予算の段階では決まっていなかったのか。年度途中で異動があったのか。
- 【指定管理者】 年度途中の異動はなかった。予算が決まった後に人事の配置を決めた。
- 【A委員】 見比べた時に金額が違うので、資料を出す時にその理由も書いてほしい。「金額が変わりました」だけでは説明にならない。今後は記載をお願いします。
- 【B委員】 棚尾児童センターと子ども食堂との相乗効果について非常に良いと思う。社協が子ども食堂のバックアップを行っているかと思うが、児童センターと子ども食堂がどう連携を行っているのか。どなたが主体となつての活動なのか。それがあることでどう利用者数が増えたのか。
- 【指定管理者】 運営主体は社協ではなく公民館で地域の方が行っている自主事業。月に2回、公民館の調理室を利用してこども食堂を開催している。連携はとっていない。子ども食堂に来た方が「ここに児童館がある」と発見し、午前中に遊んで食堂でお昼を食べ、また午後遊んで過ごすという割合が増えている。

(3) こどもプラザららくるにしばた

ア 令和7年度事業報告及び決算について

イ 令和8年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<意見・質疑>

- 【A委員】 ららくるにしばたの体制について、行事時には職員を追加配置とあるが社協の職員なのか。年間にどれぐらい追加配置しているのか。
- 【指定管理者】 通常は4名勤務だが最低でも2名体制としている。行事時には必ず4名体制を確保できるようにしている。

- 【C委員】 棚尾児童センターを見学した際に、先生方が子どもたちのトラブルや仲の良さをすごく把握されていて感動しました。七夕の飾りも年代に沿って作れるように工夫されていた。ららくるでも昼間は2名かもしれないが4名で見られているということで良いか。
- 【指定管理者】 はい、そうです。

(4) こどもプラザこころつくしんかわ

ア 令和7年度事業報告及び決算について

イ 令和8年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<意見・質疑>

- 【D委員】 こころつく新川の概要に「発達がゆっくりな親子への遊びの交流」とあるが、ららくるでは行っていないようだ。こころつくでは特殊な資格を持った方の対応があるのか。
- 【指定管理者】 特記した資格ではないが、前職で碧南市のにじの学園(療育施設)に勤めていた職員や加配経験のある職員が、あおぞらひろばという事業を担当している。そういう知見から発達に関する相談が寄せられているため記載をした。
- 【A委員】 支援員で60歳以上の方は研修を受けているのか。
- 【指定管理者】 60歳以上の方は保育士資格等をもっているし、研修も受けている。
- 【A委員】 寄付金の内容や使われ方を知りたい。
- 【指定管理者】 昨年度はベンチや積み木などをいただいた。
- 【A委員】 臨時職員の予算に関して予算と決算は一緒だが、臨時職員の給料の予算が増えている。働き方や時間が変わったのか。
- 【指定管理者】 現在、正規職員1名、臨時職員4名がいるがそれぞれ働き方や時間が違う。働いている人数は4人以上だが4人工でやっている。予算時は4人で計上している。
- 【A委員】 人工で働いた時の予算ということで良いか。
- 【指定管理者】 週3日勤務、週2日勤務の職員がいる。1人に対して支出は適切に行っている。
- 【B委員】 少子化で出生数が減っている中で、今後の施設利用状況の見通しや対応はどう考えているのか。検討していることはあるか。
- 【事務局】 碧南市としては施設管理で「公共施設総合管理計画」がある。

市全体の施設の精査をその時の状況に応じて見直し、将来的な計画も見直していく。児童館も対象であり、今後の見通しとしては少子化に対して一部縮小等を検討しながら、将来的な構造を考えているところ。まだ結論は出ていないが、少子化に合わせた検討は進めている。

【C委員】 児童クラブや児童センターの先生たちと、学校の先生たちとの情報共有や定期的な情報交換はあるのか。

【指定管理者】 定期的には行っていないが、何かあった時には連絡や情報共有ができるようになっている。地区や地域によっては情報共有している所もある。

【D委員】 棚尾は職員が増えているが、他が減っているのは支援員さんを確保ができないからか。

【指定管理者】 分析をしないとはっきり言えないが、人事異動の関係と思われる。正規職員が棚尾と東部を行ったり来たりしている事や、パートタイム職員の数と思われる。

(5) その他

【B委員】 市民の方からのアンケートで率直な意見をいただいている中で、こうやって改善に働いていると思う。引き続き、続けてほしい。少子化は勢いが止まらない。今後、児童館がどの年齢層の子どもたちを対象にしていくのか、子どもたちや家庭のためにどのような支援ができるのか、いろいろなところで見直していく必要があると思う。児童クラブもそう。それを含めて検討していったほしい。市にも継続的な支援をお願いしたい。